

いたくら

特集

自宅でその人らしい生活を支える訪問診療
～訪問診療医が伝えたい、この夏の熱中症対策～

いっしょにお取りください

医療法人弘仁会 板倉病院 広報誌

いたくら | vol.42



板倉病院 理念

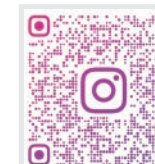
地域に根ざした、信頼される高品質な医療の継続

板倉病院 方針

医の倫理に基づき、すべての患者さまに誠意を持って、最善の医療を公平に行います。
都市型中規模病院として、地域に密着した顔の見える関係を目指します。
救急医療・予防医療・在宅医療の提供に努めます。
医療機関・施設・在宅との連携を密にして、期待に応える医療体制を整備します。
職員とその家族までも大切に、ワクワク、イキイキ、ニコニコできる病院を目指します。



板倉病院ホームページ
<https://www.itakura.or.jp>



板倉病院公式Instagram
@ITAKURA_HOSPITAL

板倉病院 〒273-0005 船橋市本町2-10-1
TEL: 047-431-2662(代表) FAX: 047-432-8578
※本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等の行為はご遠慮ください。

🚗 駐車場20台(身体障がい者用1台含む)

🚶 京成本線京成船橋駅より徒歩5分 / JR総武線船橋駅より徒歩7分 / 東武野田線船橋駅より徒歩7分



自宅でその人らしい生活を支える訪問診療 ～訪問診療医が伝えたい、この夏の熱中症対策～

すぐる 優
在宅支援部 吉岡



先生のこれまでの「ご経歴について
教えてください。」

2026年度より板倉病院在宅支援部で勤務している吉岡優です。
私は総合診療専門医として、これまで静岡県で家庭医療を学び、その後は在宅医療・緩和医療を中心に診療を行ってきました。
高血圧や糖尿病などの慢性疾患から、認知症、心不全、呼吸器疾患、がんの緩和ケア、ご自宅での看取りまで、幅広い診療に携わってきました。
現在は板倉病院在宅支援部で、地域の皆さまが住み慣れたご自宅で安心して生活できるよう、訪問診療を行っています。私自身も船橋市民の一人として、この地域で暮らす皆さまのお力になればと思っています。



▶患者さま一人ひとりに丁寧に向き合います！

「総合診療医」とは、どのような
医師なのでしょうか？」

総合診療医の強みは、一つの病気だけではなく「人」を診ることだと思っています。
複数の病気やお薬を総合的に評価するだけでなく、その方の生活背景や価値観、ご家族の思いも大切にしながら、「その人にとって最善の医療は何か」を一緒に考えることを心掛けています。

訪問診療は、病気の治療だけが目的ではありません。患者さまが住み慣れたご自宅で安心して生活を続けられるよう、多職種と連携しながら、その方の生活全体を支えていくことも大切だと考えています。

夏の訪問診療で、特に気を付けている
ことはありますか？

これからの季節に特に気をつけたいのが、熱中症です。熱中症というと屋外で起こるイメージがありますが、実は室内でも起こります。訪問診療では毎年、「食欲がない」「なんとなく元気がない」「少しぼんやりしている」といった症状で伺ったところ、実は脱水や熱中症が原因だったというケースを多く経験します。

初期症状は「夏バテ」と区別が付きにくいこともありますが、日頃から予防することがとても大切です。

熱中症を防ぐために、どんなことに
気をつければよいでしょうか？

訪問診療の現場で感じる、熱中症を防ぐポイントが4つあります。

①室内環境を「見える化」する。
温度計や湿度計を置き、室温28℃以下・湿度60%程度を目安に、室内の環境を確認しましょう。

②「我慢せず」エアコンや扇風機を上手に
使う。

「まだ大丈夫」と思っても、暑さを感じたら無理をせず、上手に活用してください。

③直射日光を防ぐ。
カーテンやすだれなどを活用して、日差しによる室温の上昇を抑えましょう。

④こまめな水分補給。

のどが渴いてからではなく、のどが渴く前からこまめに水分をとることが大切です。また、ご家族とも「いつもと違う様子はないかな」と声を掛け合ってください。

板倉病院の在宅支援部では、
どのような体制で患者さまを
支えているのでしょうか？

板倉病院在宅支援部では、医師・看護師・医療ソーシャルワーカー・リハビリスタッフをはじめ、地域のケアマネジャーや訪問看護師など、多くの専門職と連携しながら、24時間365日体制で患者さまを支えています。

また、必要なときには板倉病院と密接に連携し、入院や検査、専門診療へとスムーズにつなげられることも大きな強みです。



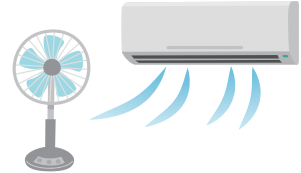
▶在宅支援部では様々な職種と連携して患者さまをサポートします。

室内でも注意！ 熱中症対策



室内環境を「見える化」

温度計や湿度計を置き、室温28℃以下・湿度60%程度を目安に、室内の環境を確認しましょう。



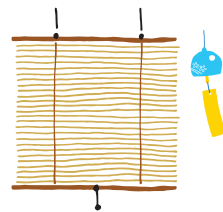
エアコンや扇風機を活用

「まだ大丈夫」と思っても、暑さを感じたら無理をせず、上手に活用してください。



こまめな水分補給

のどが渴く前からこまめに水分をとることが大切です。



直射日光を防ぐ

カーテンやすだれなどを活用して、日差しによる室温の上昇を抑えましょう。

『板倉病院院長も手術をしていただきました』

眼科 白内障 日帰り手術

本橋眼科クリニック



本橋 良祐 医師

Q クリニックの特徴を教えてください
当院は、目の手術に特化した眼科クリニックです。特に白内障手術を数多く行っているほか、硝子体手術、ICL（眼内コンタクトレンズ）手術、眼瞼下垂や翼状片などの外眼部手術にも対応しています。

大学病院の先生方からご紹介いただく患者さまも多く、クリニックレベルの医療ではなく、大学病院にも負けない医療を提供することを目標にしています。待ち時間をできるだけ短くし、日帰りでの質の高い手術を受けていただける体制を整え、「まちの眼の大学病院」を目指しています。

特に白内障手術では、目の中に眼内レンズという人工のレンズが入ります。手術そのものは約10分で終わりますが、本当に大切なのは、患者さま一人ひとりに最適な眼内レンズ選びです。眼内レンズは種類や度数を含めると数千通りもの組み合わせがあり、どのレンズを選ぶかによって術後の見え方は大きく変わります。そのため、検査データだけではなく、「どのような見え方を望んでいるのか」という患者さまのご希望を丁寧にお伺いし、医学的なデータと照らし合わせながら最適なレンズをご提案しています。

患者さまの主観的な希望を、医学・物理・数学的な根拠をもとに客観的に分析し、再び患者さまの満足という形でお返しする。それが当院の最大の特徴です。

Q 診療で心掛けていることはありますか？

診療で最も大切にしているのは、患者さまのお話をよく聞くことです。眼の状態を診れば病気はある程度分かります。しかし、患者さまが本当に困っていることを理解し、それを解決して初めて「ありがと」と言っていただけの医療になると考えています。そのため、医師だけでなく看護師や視能訓練士を含めたス



タッフ全員で、「まず患者さまのお話を聞くこと」を共通の姿勢としています。

例えば白内障手術では、「遠くが見えるようにしたい」とおっしゃる患者さまでも、お話を詳しく伺うと、実際には読書や介護など近くを見る時間が長い方も少なくありません。

また、「知り合いが遠くに合わせて良かったと言っていたから、自分もそうしたい」という方もいらっしゃいます。しかし、その方の生活スタイルを詳しく伺うと、運転は2日に1回30分程度で、それよりも手元を見る時間のほうが圧倒的に長いというケースもあります。だからこそ、アンケートや会話を通して、その方の仕事や生活、趣味、ご家族との関わりまで丁寧に把握し、一人ひとりに合わせた眼内レンズをご提案しています。

「患者さま」自身に合ったオーダーメイドの医療を提供することが、私たちの診療で最も大切にしていることです。

Q この建物のコンセプトを教えてください

建物のコンセプトは『和』です。最近のクリニックはカフェのようなおしゃれなデザインも多いですが、当院にはご高齢の患者さまも多く来院されます。そのため、落ち着きや安心感を感じていただけるよう、和を基調とした空間づくりを意識しました。玄関には瓦を取り入れ、建物全体の色合いも和の雰囲気です。

また、「本橋眼科」の看板文字は、国技館の番付を書く書家の方をお願いして制作していただきました。細部まで和の趣を大切にしています。

Q 休日のリフレッシュ方法、趣味を教えてください。

休日は、走る・泳ぐ・自転車に乗ることを楽しんでいます。趣味はトライアスロンで、始めて約5年になります。友人に誘われたことがきっかけで挑戦し、それ以来続けています。学生時代は野球部でしたが、現在はトライアスロンに夢中です。今年6月には長崎県・五島列島で開催された「バラモンキング」に出場し、13時間に及ぶレースを完走しました。そのほか沖縄など各地の大会にも参加しています。



Q 最後に地域の方へメッセージをお願いします。

医師の役割は、困っている方のお力になり、「ここへ来て本当に良かった」と感じていただくことだと思います。

さまざまな不安や事情を抱えて来院される患者さま一人ひとりに寄り添い、病気だけでなく、その方の生活まで見据えた医療を提供したいと考えています。

私たちにできることには限りがありますが、その中で最善を尽くし、地域の皆さまに安心して頼っていただけの存在でありたいと思っています。これからも「まちの眼の大学病院」を目指し、地域に根ざした質の高い眼科医療を提供してまいります。



▶本橋 良祐医師(左)、湊谷事務長(右)



【住所】273-0005 千葉県船橋市本町2丁目28-27

【電話】047-420-2001

【診療科目】眼科

※診療時間などに関する詳細は、QRコードからご確認ください。

医療法人弘仁会 板倉病院

ご自宅で「食べる」を支える 訪問栄養

住み慣れた地域で、
いつまでも自分らしく暮らすために

「食べること」は、健康を支えるだけでなく、毎日の楽しみや生きがいにもつながる大切なことです。当院では、地域密着型病院として、管理栄養士がご自宅を訪問し、お一人おひとりの生活環境や病気、食習慣に合わせた栄養・食事のサポートを行っています。病院での治療を終えた後も、「安心して食べられる」「住み慣れた自宅での生活を続けられる」よう、ご本人やご家族に寄り添いながら支援します。

糖尿病や腎臓病などの食事療法、低栄養の予防・改善、飲み込みにくさへの対応、介護食の工夫など、ご自宅での生活だからこそ見えてくるお悩みに合わせて、無理なく続けられる食事をご提案します。

また、医師や訪問看護師、ケアマネジャーなど、地域の医療・介護スタッフとも連携しながら、「食べる」を支えます。

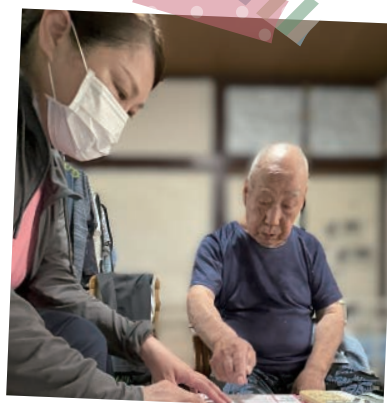
食べることを大切にしながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、私たちが食事と栄養の面からサポートします。

食べることのお悩みありませんか？

「食べる量が減ってきた」「飲み込みにくくなった」など、食事に関するお悩みはありませんか？

- ☑ 飲み込みや嘔むことに不安がある
- ☑ 持病により食事療法が必要になった
- ☑ 食欲が低下し、体重が減ってきた
- ☑ がんの治療中・治療後の食事について相談したい
- ☑ ご家族や介護者の食事の負担を減らしたい
- ☑ 離れて暮らすご家族(ご両親など)の食事が心配
- ☑ 退院後の食生活に不安がある

このようなお悩みがありましたら、まずは主治医または担当のケアマネジャーにお気軽にご相談ください。住み慣れたご自宅で、いつまでも「食べる楽しみ」を大切にできるよう、食事や栄養の面からサポートします。

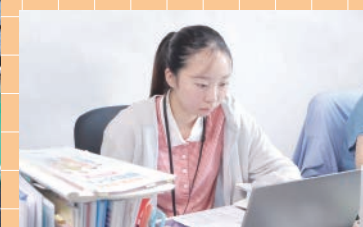
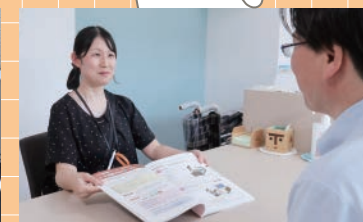


食事や栄養面を
サポートします♪

KOUJINKAI GROUP 船橋市塚田地域包括支援センター

塚田地域包括支援センターは、高齢者の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援する総合相談窓口です。保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員という専門職が連携し、介護や健康、認知症、生活上の困りごとなど、さまざまな相談に対応しています。

板倉病院と
同じ法人♪



主なサービス内容

高齢者の皆さまが、いつまでも健やかに安心して住み慣れた地域で暮らせるよう支援する「総合相談窓口」です。



総合相談支援



介護予防支援



認知症相談・支援



権利擁護支援



医療・介護・福祉との
連携支援

地域の皆さまに寄り添う相談窓口として

当センターの担当区域(旭町・北本町・行田・行田町・前貝塚町・山手)には、古くから地域に住まわれている方と新しく転入された方が共に暮らし、世代を超えたつながりが息づいています。その一方で、高齢化や単身世帯の増加により、認知症や孤立化、閉じこもり等、地域が抱える課題は多様化しています。

塚田地域包括支援センターでは、地域の皆さまや自治会、民生委員、地区社会福祉協議会、医療機関、介護サービス事業所などと連携しながら、高齢者の皆さまを支えるネットワークづくりに力を入れています。また、認知症に関する普及啓発や介護予防活動、地域ケア会議などを通じて、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指しています。

「介護保険のことがよくわからない」「物忘れが増えて心配」「近所の高齢者が気になる」「家族の介護について相談したい」など、どのようなことでもお気軽にご相談ください。相談は無料です。困りごとが大きくなる前に、まずは声をかけていただくことが大切です。

メッセージ



地域の皆さまにとって身近で頼れる存在となれるよう、これからも職員一同、地域に寄り添った支援に努めてまいります。今後とも塚田地域包括支援センターをよろしくお願いいたします。

管理者：山口信人

- 当院職員が登壇しました -
第101回 医療機器学会大会
メディカルショージャパン&ビジネスエキスポ 2026

『ディスポーザブル粉碎機導入による業務効率化と感染対策の効果』をテーマに学会発表を行い、その取り組みは患者さま・医療従事者の双方から高い評価をいただきました。



職場での鈴木さん



登壇者 鈴木 風堂 さん (ケアエイド)

社会人として初めて公の場に立たせていただき、とても緊張しました。
当日まで何度も練習を重ね、十分ではありませんが良い発表ができたと感じております。
一部ではありますが、他の発表者の方の講演を拝聴させていただき、私はまだまだ理解が乏しいことばかりであると痛感させられました。



ディスポーザブル粉碎機とは

ディスポーザブル粉碎機とは、患者ごとに使い捨ての専用容器を使用して錠剤を粉碎する装置であり、交差感染や薬剤の混入を防止するとともに、洗浄作業の削減による業務効率化に寄与します。



交差感染を防止

患者ごとに新しい容器を使用することで、薬剤や細菌・ウイルスの持ち越しを防ぎ、交差感染のリスクを低減します。



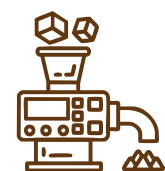
清掃負担を軽減

使用後は容器を廃棄するため、洗浄や乾燥、消毒作業が不要となり、業務負担の軽減と効率化につながります。



薬剤の混入を防止

患者ごとに専用容器を使用することで、前の患者の薬剤が残る心配がなく、薬剤混入のリスクを防ぎます。



曝露リスクを軽減

薬剤の飛散や粉じんの発生を抑えることで、薬剤への曝露リスクを低減し、安全な作業環境の確保に役立ちます。

板倉病院 職場見学

職場紹介 vol.10

板倉病院 薬剤科

板倉病院で働くスタッフの仕事内容をご紹介します。
第10回目は、薬剤科です。入院患者さまの薬の調剤や管理、服薬指導を担当する部署です。
安全で適切な薬物療法を支え、安心できる医療の提供に努めています。

薬剤科とは

現在、9名のスタッフが在籍しています。薬剤は、病院内の薬すべてに関わり、患者さまに安全で効果的な治療を提供するための「薬の専門家」です。多職種と連携し、患者さまを日々サポートしています。



当院の薬剤科



調剤業務(注射薬含む)

処方箋に基づき、薬の量や飲み合わせを確認して調剤します。安全な治療のため、点滴などの準備も担います。



病棟薬剤業務

入院患者さまのベッドサイドへ伺い、薬の説明や副作用の確認を行います。



外来化学療法(がん化学療法)

抗がん剤を専用設備で無菌的に調製し、副作用の確認や説明を行います。



専門医療チームでのサポート

感染対策や栄養サポートなどの専門チームに参加し、薬の視点から最適な治療方針を提案します。



医薬品管理・情報業務

薬の品質や在庫を厳重に管理し、最新の薬情報を収集して医療スタッフへ提供しています。

患者さまへのメッセージ

私たち薬剤科は、当院の理念である「地域に根ざした、信頼される高品質な医療の継続」を胸に、患者さまが安心してお薬を使用できるようお手伝いする「お薬のパートナー」です。

お薬の効果をご説明するだけでなく、入院時にお持ちいただいたお薬の鑑別内容もしっかりと確認し、飲み合わせや安全性を第一に考えた医療を提供いたします。

「いつ飲むの?」「一緒に飲んでも大丈夫?」など、ご不安なことがあれば、いつでもお気軽に薬剤師へお声がけください。患者さまとご家族さまが安心して療養できるよう、親身になってサポートいたします。



弘仁会インフォメーション

弘仁会で行われているイベントやお知らせの最新情報をお届けします。



子ども食堂 いたくらはんLABO

当院の中・長期ビジョンの一つとして、究極の地域医療「病院が地域をつくり、地域が病院をつくる」を掲げています。その一環として、数年前から社会問題となっている『ひとり親世帯の貧困や孤食』に少しでも役立ちたいと、2019年9月から子ども食堂『いたくらはんLABO』を始めています！

開催情報

場所	板倉病院 6階コンファレンスホール
日時	第3土曜日 12:30～なくなり次第終了
費用	中学生まで無料 子ども同伴者 300円、大人 500円

8/15
menu

8月の子ども食堂は、ボリューム満点の照り焼きチキン・豚丼やカルビスープを提供し、子どもたちの笑顔あふれる時間となりました。ご協力いただいた企業様、スタッフ・関係者の皆様に心より感謝申し上げます。次回は9月19日（土）を予定しています。



■食材提供

【日本ピュアフード様】お肉
【ナリコマエンタープライズ様】デザート
【NPO 法人フードバンクふなばし様】お菓子
【ふなばし子ども食堂ネットワーク様】お米、わかめスープ、はごろも煮缶詰（夏休み子ども応援プロジェクトとして）
皆さまご協力してくださりありがとうございました。

ボランティア募集中！

子ども食堂のボランティアスタッフを募集しています。

お問い合わせ
047-431-2662（代表）



医療法人弘仁会 学術集会を行いました

医療法人 弘仁会では、安心して暮らせる町にしていけるために、以下の理念を掲げています。
『地域の方々のセーフティネットとして時代の変化に対応し、医療機関・施設と連携して患者様及び利用者様を中心とした健康増進・保健・医療・看護・介護・福祉・在宅のトータルヘルスケアを行う』

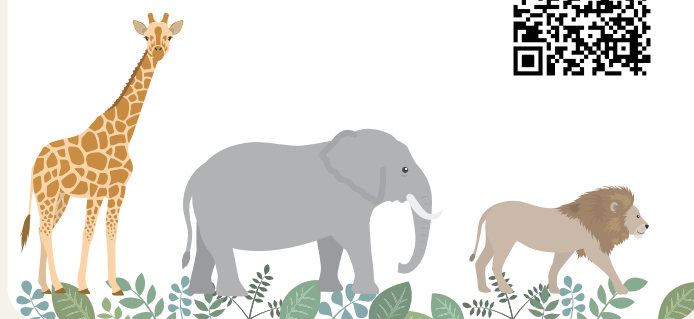
本集会は1995年からスタートし、今年で31回目を迎えました！！

法人全体で地域医療の未来を創り上げる取り組みの一つとして立ち上げ、法人全事業所と連携医療機関と共に前年度の振り返りや各事業所の取り組みの発表、今年度の目標などを共有する場として毎年開催しています。
法人職員全体で知識を深め、同じ方向を向き、「究極の地域医療」の実現のために思いをひとつにする大切な一日となりました。



劇団四季・元主演の佐藤政樹さんが特別講師として来てくださいました。

Instagram で当日の様子を公開中！▶



職員同士の交流を深める♪ 大好評のランチフェアを開催！



毎年恒例、板倉病院職員に大好評の「ランチフェア」を今年も開催しました！

今回は、COQ DINERの小久保尊さんにご協力いただき、2日間限定の特別メニューをご用意。1日目は、じっくり旨みを引き出した「ブルドポーク丼」とスープ、2日目は、贅沢な「ローストビーフ丼」とスープが登場しました♪

当日は多くの職員が参加し、おいしい料理を囲みながら、部署を越えた交流を楽しむひとときに。会場は笑顔と食欲をそそる香りに包まれ、大盛況となりました！

板倉病院では、職員が楽しく交流し、気持ちよく働ける職場づくりにも取り組んでいます。こうした職員向けイベントも、板倉病院で働く楽しみのひとつです♪

